

主要生命保険会社の令和3年9月期決算の概要

1. 損益の状況

- 保険料等収入は、新型コロナの影響に伴う営業活動の自粛からの反動等により、一時払円建て及び外貨建て終身保険の販売が増加したことなどから、前年同期に比べ増加。
- 中間純利益（純剰余）は、新型コロナの影響からの反動等により内外株式が増配し、基礎利益が増益となったことに加え、有価証券の売却等によりキャピタル損益が増加したことなどから、前年同期に比べ増加。

（単位：億円）

	令和元年9月期	令和2年9月期	令和3年9月期	前年同期比
保険料等収入	145,317	125,514	133,681	8,167
基礎利益	18,142	19,065	20,170	1,105
キャピタル損益	▲4,099	▲608	4,263	4,872
臨時損益	▲2,702	▲5,239	▲7,310	▲2,071
特別損益	▲869	▲1,790	▲2,788	▲998
中間純利益（純剰余）	7,084	8,042	10,230	2,187

2. 健全性の状況

- ソルベンシー・マージン比率は、一部の社において劣後ローンによる調達を実施したことや、株価上昇に伴い、その他有価証券評価差額が増加したことなどから、前年度末に比べ30.5%ポイント上昇。

（単位：%）

	令和2年3月期	令和3年3月期	令和3年9月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	994.5	1004.9	1035.4	30.5Pt

（注）日本生命、第一生命、明治安田生命、住友生命、太陽生命、大同生命、富国生命、大樹生命、朝日生命、ソニー生命、ジブラルタ生命、アクサ生命、アフラック生命、メットライフ生命、東京海上日動あんしん生命、第一フロンティア生命、三井住友海上プライマリー生命、プルデンシャル生命、かんぽ生命の19社を集計。